

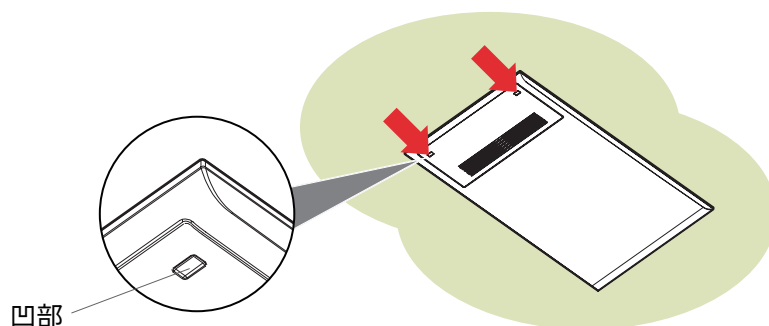
ES-1210DC-F1
ES-1210DC



- 本体を水につけたり、水をかけないでください
 - 分電盤のブレーカーを切ってください。
 - フィルターのお手入れは定期的に必ず行ってください。
 - お手入れは機械を確実に停止してから行ってください。
 - 足元に注意し、手は手袋などで保護してください。
 - 取り外した部品の取り付けは確実に行ってください。
- ※ 詳細は取扱説明書にてご確認ください。

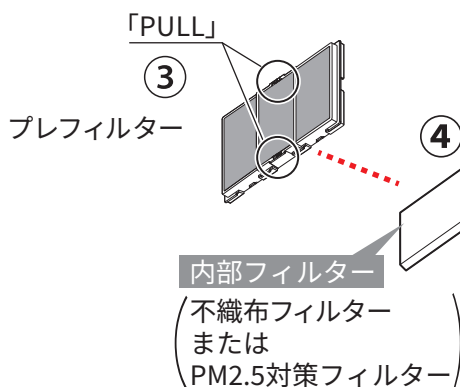
1. フィルターを取り外してください

- フィルターの取り出し口の凹部を押し、取り出し口を開けてください。



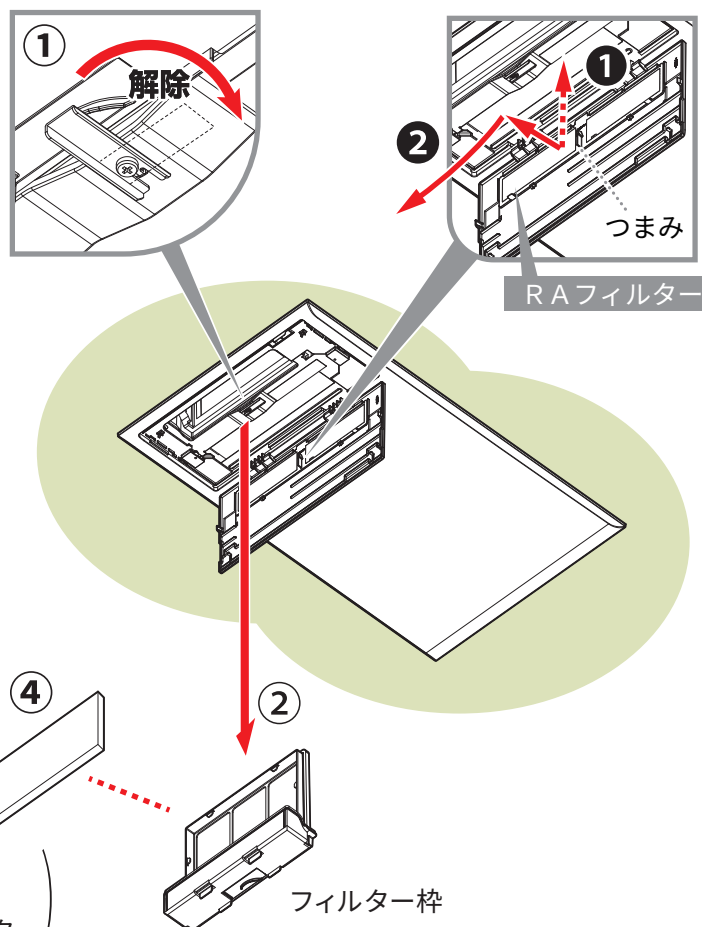
内部フィルターの取り外し方 (不織布フィルターまたはPM2.5対策フィルター)

- ① フィルター枠の固定金具を解除してください。
- ② フィルター枠をゆっくりと本体から取り外してください。
* 勢いよく取り外すと虫やホコリ等が落下する恐れがあります。
- ③ プレフィルター中央にある「PULL」部を手前に引き、フィルター枠から取り外してください。
* プレフィルターとフィルター枠を止めている仮止めテープが付いている場合は、はがしてください。
- ④ フィルター枠から内部フィルター (不織布フィルターまたはPM2.5対策フィルター) を取り外してください。
* 不織布フィルターまたはPM2.5対策フィルターのいずれか1枚が入っています。



RAフィルターの取り外し方

- ① つまみを持ち、少し上に持ち上げながら
- ② 手前に引き、取り外してください。



2. フィルターの清掃をしてください

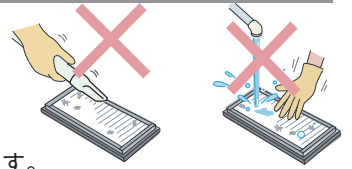
内部フィルター：「PM2.5 対策フィルター」「不織布フィルター」は、いずれも消耗品です。

PM2.5 対策フィルター

- フィルターを逆さまにして虫やホコリを落とすか、柔らかいブラシなどで表面を撫でるようにして落としてください。



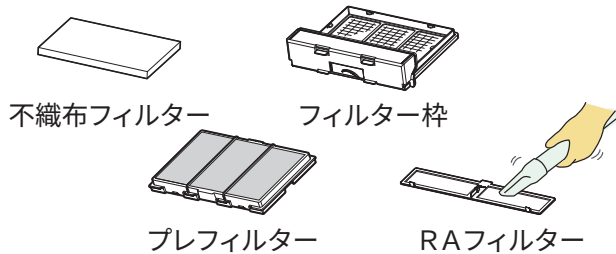
*破損や機能低下の恐れがあるので掃除機や水洗いによるお手入れはしないでください。



*フィルター交換の目安は半年～2年です。ひどく汚れが目立つ場合には、その時点で交換してください。

不織布フィルター・フィルター枠・プレフィルター・RA フィルター

- 虫やホコリを掃除機で吸い取ってください。



<不織布フィルター>

汚れがひどい場合、水またはぬるま湯に中性洗剤を溶かして押し洗い（熱湯禁止・もみ洗い禁止）をし、よく乾かしてください。（自然乾燥）



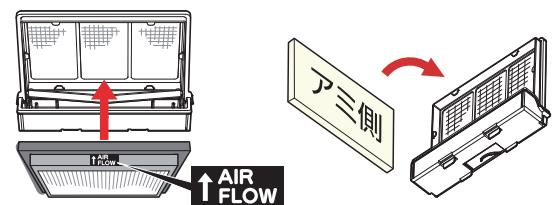
押し洗い回数5～6回を目安に新しいフィルターと交換してください。



3. 全てのフィルターと枠を、取り外した時と逆の順序で取り付けてください。

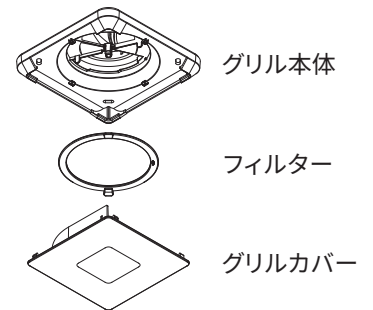
- フィルター枠に不織布フィルター・PM2.5 対策フィルターを入れる際は取付方向に注意してください。
- 各フィルター・フィルター枠を入れ忘れないようにしてください。
- フィルター枠はレールに合わせてゆっくりとまっすぐ差し込み、フィルター枠固定金具で確実に固定してください。

PM2.5 対策フィルター 不織布フィルター



副吸込グリルのお手入れ *設置されていない場合や、異なる形状のものが設置されている場合もあります。

- ①グリルカバーを取外してください。
- ②グリル本体内のフィルターを取り外し、フィルターについているほこりを掃除機で吸い取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を適量に薄め、フィルターを浸してスポンジ等やわらかいものでやさしく洗ってください。
- ③グリル本体を布で乾拭きして、フィルターをよく乾かしてください。
- ④グリル本体内のツメにフィルターをセットし、グリルカバーを取り付けてください。



交換用フィルター

*内部フィルターは消耗品です。定期的な交換をおすすめします。



マックス公式通販サイト
住環境店舗MAX
ご注文はこちらから→



			品番	商品名	入数	交換の目安*
①-a	内部 フィルタ	PM2.5 対策フィルタ	JG90254	ES-F106HG	1 枚	約 2 年
①-b		不織布フィルタ	JG90204	VO105 スペアフィルタ	5 枚	押し洗い 5 ～ 6 回
②	RA フィルタ		JG90205	8300RA フィルタ	1 枚	破損時
③	フィルター枠		JG90277	フィルター枠 (1200)	1 個	破損時
④	プレフィルター		JG90703	ES-F109	1 個	破損時

*使用環境・使用条件により異なります。【2026.03 現在】